

特集

アクティブ・ラーニングとは何か、英語の授業での方略を考える

●「英語の授業とアクティブ・ラーニング：その目的を考える」

●「英語の授業でのアクティブ・ラーニングの方略と導入・活用の工夫」

■ 講習 3 受講者：14 名

I. 本講習の内容・方法についての総合的な評価 (4 段階評価)

3.64

II. 本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価 (4 段階評価)

3.64

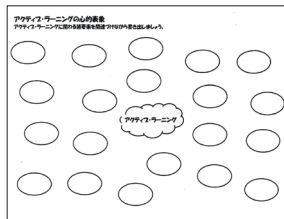
III. 本講習の運営面についての評価 (4 段階評価)

3.92

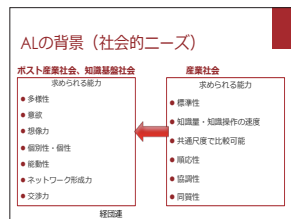
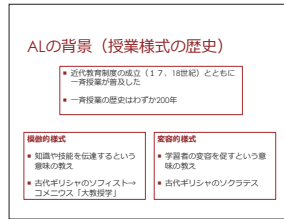
●「英語の授業とアクティブ・ラーニング：その目的を考える」

東條 加寿子

言語活動の充実という観点から、英語の授業の中でアクティブ・ラーニングを捉え直す。そこで、アクティブ・ラーニングは記録・説明・批評・論述・討論などの言語活動を充実させることで思考力や判断力、表現力を育むことを目的としているということを明らかにする。これまでの英語授業における取組みと何がどのように異なるのかを、実践例を挙げながら議論する。



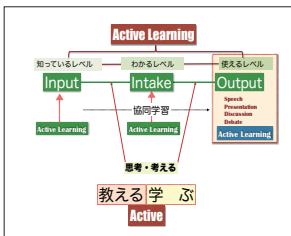
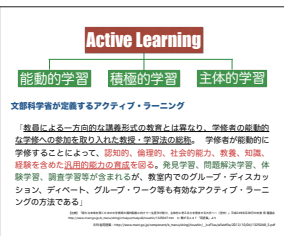
アクティブ・ラーニングの目的と効果 (目的は多岐にわたる)		
一斉授業	言語活動	チーム/グループ
英語力	コミュニケーション能力	ペア/ラーニング
グローバルな必要知識	思考力 創造力	授業中
国際理解	社会力/マナー	授業前
英語学習・手習	授業デザイン	授業中/ワーク
学生中心	主体的学習	中心教育
学習	批判評価	協働能力
学力	批判思考	Can do statement
総合的学力	大学(国)連携	CSDEP
英語学習・学び合い	知識	大規模授業
教師主導	知	Project-based Learning
記述式試験	知識	知識継承社会
グローバル社会	知識継承社会	知識継承
経済圏	知識継承	



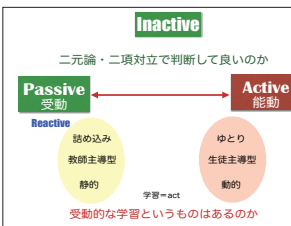
●「英語の授業でのアクティブ・ラーニングの方略と導入・活用の工夫」

中井 弘一

アクティブ・ラーニングはなぜ効果があると考えられているのか、また、個々の生徒の学習意欲や学習能力を高めるためにはどのようにアクティブ・ラーニングという学習方法を英語の授業で活用すればよいのか、その方略を中学・高校の英語の教科書などを使った実習を通して参加者と考える。



類型	技法
教師主導型	Chalk & Talk の一方的講義
アクティブ	コメントシート、小テスト、ショートレポート、振り返りシート、感想
協働型	授業、発表などの言語活動、体験学習、反転授業
アクティブ・ラーニング	協同学習、調べ学習、ディベート、課題解決学習、プレゼンテーション、学習の振り返り、シグゾウ法、総合学習



■ 受講者事前アンケート

●この講習の受講を希望した理由はなんですか。(一部紹介)

- ・これまでのように、教師主導で行いがちな英語の授業でなく、生徒たちが能動的に参加していく「アクティブ・ラーニング」の形での英語の授業の方法について考える機会にしたいと思うからです。
- ・よく「アクティブ・ラーニング」という言葉を目にするが、実際の授業でどのように活用できるか、様々な方法を知りたいと思ったため。自分自身の授業でも、もっとペアやグループでの活動を増やしたいが、なかなか増やせてないため、講義内容に興味を持ったため。
- ・夏に講習1,2を受講し、プレゼンテーションや音声指導など各先生方の講義内容がとても興味深かったので講習3もぜひ受講したいと思っていました。
- ・夏に受講した講座が面白かったので。またアクティブ・ラーニングについて、考え、実践する必要性を感じているので、何かお導きいただけたら・・・と思っています。
- ・講習の名称が最も魅かれました。今、現在まさに必要な課題である「アクティブ・ラーニング」は、最も身に付けたい授業法です。貴校の英語 Teaching 法に、学生時代から興味があり、是非、触れてみたいと思いました。
- ・アクティブ・ラーニングの効果的な教授法を学びたい。
- ・大阪女学院の講習は有意義であると聞きました。また、アクティブ・ラーニングのノウハウをより深く学びたいということもあります。
- ・「思考を活性化」する学習形態の具体的な方法について勉強したいと以前から考えていたため。講習名を見て、色々な角度から「アクティブ・ラーニング」について学べそうだと思い、受講を希望しました。
- ・昨年の夏、受講させて頂いた時、とても良かったから。

■ 受講者コメント (一部紹介)

- ・今までアクティブ・ラーニング＝グループ、ペアなどの活動と、漠然と思っていた。今回の話を聞いて、生徒に考える力を付ける活動であり、その方法はグループ、ペアだけでなく教科書の文を読んだり、小テストしたりする時にも使えると知った。今回、詳しく聞けたので、自分の授業にも活かしていこうと思う。ありがとうございました。
- ・アクティブ・ラーニングは今実際行っている授業とはかなりかけ離れていると実感しました。あまりにも大きく変わりすぎて、2020年に大学入試が変わるまで、どのように移行していくのか、現場の教師がまだその問題に対してきちんと取り組めていないのが現状です。私たち教師がもっと知らねばと思いました。夏に引き続き受講させていただきましたが、両先生の熱心な指導に感謝します。盛りだくさんの内容で、続きはいただいた資料を熟読します。ありがとうございました。
- ・本講習の内容は決して一日では終わらないような内容とボリュームもあったが、東條先生、中井先生両先生とも私たち参加者に多くを伝えようとすごく熱意が伝わってきました。さらに、私たちが飽きないよう、常に私たちに話しかけ、時にグループワークも取り入れて



いただき、あつという間の一日でした。本日お教えいただいた内容はどれもすぐに現場で役立つものばかりでした。決して現状を批判することなく、更に充実させるにはどうしたらよいかというヒントを与えてくれる素晴らしい講習でした。ありがとうございました。

- ・アクティブ・ラーニングが何かという疑問から受講を決めました。あつという間に時間が過ぎ、もっと話を聞きことができたらと思います。資料も豊富なので、あとでじっくり読み返してみたいと思います。充実した中身の講習でした。
- ・今日はありがとうございました。これまで受講した講習の中でも一番アクティブ・ラーニングについて深く考えることができました。これまで同じ指示や授業の詰め込みの部分があっても、ただ教師が一方通行にして終わるのではなく、発話や質問を授業に反映させていくことも、生徒が自分の授業をアクティブに受けていることになるとおっしゃったので、少し固く考えていたことも広がりのあるプランを創造できるようになって来ました。「仕込み」が大切なのは、生徒に楽しく能動的に学んでもらうために必要だと再認識しました。たくさんの資料をいただきました。必ず目を通し、勉強して行きたいと思います。ありがとうございました。
- ・非常に内容の充実した講義でした。アクティブ・ラーニングの概念についてよく理解できたし、多くの実践例、導入例を紹介していただき、今後の自分の授業にも役立てそうです。久しぶりに自分が教授される側になり、「考える」「思考する」場面が何度もあり、アクティブ・ラーニングの期待される効果についても体感できたと思います。
- ・いろんな新しい試みがなされていることに感銘を受けました。生徒の自発性がいかに大事か、またそれを最大限活かすために教師が下準備をし、授業の運営に工夫をすることがいかに大事かわかりました。参考になりそうな資料もたくさんいただき、帰ってじっくりと読ませていただき、今後の授業に役立てたいと思います。
- ・今まで自分が行っていたペアワーク、グループ活動が実はアクティブ・ラーニングと呼べる場合とそうでない場合があることに気がきました。生徒の思考力を育てる質問を事前にたくさん用意しておくなど、しっかりと準備をしておく必要性を感じました。今後の授業に役立てたいと思います。ありがとうございました。
- ・アクティブ・ラーニングについて詳しく説明していただき、大変分かりやすかったです。グループワークやグループ・ディスカッションなども取り入れてあり、あつという間の6時間でした。夏の講習と合わせると3回受講しましたが、どの回も今の英語教育に必要な旬な話題で本当に参考になり、そして勉強になりました。ありがとうございました。

大阪女学院大学 教職課程機関誌 発行
『OJU 教職活動報告・研究 Vol. 6』

創刊号から本冊子の印刷、表紙の編集を携わっていただいていた印刷業者ぶりと工房のご主人が年末に他界された。不治の病に冒され余命のことを気にされながらも最後まで明るく元気に目の前の仕事に取り組みおられた。広野さんの休むことなく懸命に仕事に向き合って最期を迎えられた姿に、教育に打ち込む者の持つべき魂を感じた。

一途に懸命に頑張る教員の姿に生徒は感銘を受ける。教壇に立つということはそういう魂を必要とする。学び続ける教員こそ、生徒に新たな知識や夢を語る事ができる。斎藤孝も著書『教育力』で、「教師が学ぶことをやめると、教育力は落ちる。というのは、生徒の側はその先生の勢いのようなものを感じとり、それを学ぶ動機に代えるからである。その先生がやる気に満ちていて、自分もまだうまくなりた、もっとこの世界をよく知りたいという勢い、遠くへ向かっていく強い力を見せたとき、その力に反応して、『ああ、自分もそういうふうになりたいな』と生徒も思うものなのだ」と述べている。

この 2015 年度機関誌 Vol.6 も不断の努力を惜しまない現職教員に皆さんに日々生命力を与え続ける太陽のようでありたいと願う。持てるものを見返りを求めず惜しみなく与えるこそ教育の本質である。



目次

巻頭言 これからの英語教育の改善・充実方策について

I 2015 年度活動報告

1. 平成 27 年度夏季教員免許状更新講習1
2. 平成 27 年度夏季教員免許状更新講習2
3. 授業デザインスキルアップ演習
4. 2015 年度勉強会「英語の教え方教室」報告
 - 第 36 回 勉強会「日本語と英語の発想の違いを認識した文法指導の在り方」
 - 兼第 3 回「英語の教え方教室」合宿 in 名張
 - 第 37 回「スクラップブック・プロジェクト-英語嫌いの高校生を支援する取り組み-」
 - 第 38 回「新しい英語教室の創造：「反転授業」の理論とその実践」
 - 第 39 回「教職フィールドワーク(英国) 報告・課題研究発表 in English」
 - 第 40 回「私の授業実践——自己効力感を高めた『英語表現 II』」
 - 第 41 回「生徒の英語力を鍛える—小テスト・定期テストなどの問題づくり、授業での問いかけの工夫—」
 - 第 42 回「中学生の英語の学びを促進するために『よくわかる』『楽しい』『学習意欲』(卒業論文発表)」

II 教員養成センター・ホームページ報告

1. 月別 HP アクセス件数(2015 年 1 月～12 月)
2. 英語教育 巻頭リレー・エッセイ(2015 年 2 月～2016 年 1 月)
3. 書籍紹介(2015 年 2 月～2016 年 1 月)

III OJU 教職ネットの 1 年

1. ML 配信記録配信件数推移(～2015 年 12 月)
2. OJU 教職ネット登録について

IV 教職課程活動報告

1. 教職サークル活動報告

2. 学生授業課題レポート:「英語科教育法 I」「英語科教育法 II」
 - ・オール・メソッドは役に立つ指導法か 豊福 良子
 - ・指導案と授業の進め方・教員にとっての指導案と指導案が授業にもたらすもの 芦谷 愛美
 - ・ヒューマンズティック・アプローチは役に立つ指導法か 大西 晴日
3. 教職フィールドワーク(英国) 報告・レポート
 - ・マナーズクールでの授業観察 重川 通香
 - ・マナーズクールの授業を通して 豊福 良子
4. 教育実習報告・レポート
 - ・教育実習を通じて考えた課題とその解決に向けたビジョン 戸田 浩美
5. 教員採用試験合格体験記 山本 妙

V 教職専修 Graduation Project

- ・A study of factors to foster lower secondary school 1st year students to learn English 戸田 浩美

VI 実践記録・実践報告・授業研究ノート

■実践記録

1. コミュニケーション英語 I・II における授業改善の試み
 - 三重県立名張高等学校教諭 岡本 泰
2. 探究活動のまとめとして、英語プレゼンをどのように改善するか
 - 兵庫県立尼崎小田高等学校教諭 二森 正人

■授業研究ノート(自由論考)

- ・英語授業におけるアクティブ・ラーニングの一考察 本学教授 中井 弘一

資料 教員養成センター Newsletter 2015
第 21 号 第 22 号 第 23 号 第 24 号
投稿規定
編集後記

<http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc/bulletin> に掲載

第 4 回「英語の教え方教室合宿」in 若狭 案内
2016(平成 28) 年 5 月 7 日(土)～8 日(日)
於：福井県立若狭高等学校

大阪女学院大学「英語の教え方教室」の有志のメンバーが昨年の名張に引き続き、第 4 回「英語の教え方教室合宿(兼第 43 回勉強会)」を若狭の小浜で行うことを企画いたしました。今回は、バズワード化しつつある「アクティブ・ラーニング」について、学習者が「ただ活動しているだけ」の状態から脱し、本当の学びとは何かを考えるとともに、さまざまな言語活動がどのように行われることでより効果を発揮するかを話し合います。翌日は、歴史情緒あふれる小浜市散策と新鮮な魚介類を堪能し、参加者の皆様の親睦をより一層深めたいと計画しています。

有志幹事：(チーム若狭) 三仙 真也、水谷 友梨
詳細案内は <http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc/course>



【1日目】

12:50	開会	三仙 真也
13:00	基調講演	
	「アクティブ・ラーニングを見つめ直す —学習者の学びを深める言語学習活動—」 大阪女学院大学 中井 弘一 教授	
14:35	グループ討論①	持ち寄り資料による話し合い 「やってよかった言語活動とその評価の在り方」
16:10	記念写真撮影	個人教材・資料配付
16:35	グループ討論②	持ち寄り資料による話し合い 「私の指導上の工夫や悩みの相談」
17:40	閉会	三仙 真也
19:00	夕食	『若狭の新鮮な魚介類 I』(小浜市内)、歓談等
【2日目】		
7:30	朝食	
8:30	小浜市内散策・塗り箸(水谷 友梨先生の解説ガイド付き)	昼食『若狭の新鮮な魚介類 2』
14:00	昼食後、解散	